

2023 年第 19 週(5 月 8 日~5 月 14 日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2023年(令和5年)5月17日作成

https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0.html

◆新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について

- 令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上における 位置づけが、新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に移行しました。
- 患者数について、これまでの発生届や総数報告等による全数把握から、市内で指定された 70 の定点医療機関であるインフルエンザ/COVID-19 定点(指定届出機関)からの定点 把握により発生動向の把握が行われることになりました。
- 指定届出機関の管理者により年齢階級別、性別の患者数について週 1 回の届出が実施され ます。
- ◆名古屋市の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者報告数 本市における 2023 年第 19 週 (5 月 8 日~5 月 14 日) の市内 70 定点からの新型コロ ナウイルス感染症(COVID-19)患者報告数は253人で、定点あたり報告数は3.61人で した。

患者報告数および定点あたり報告数(名古屋市:2023年)

10: H 10: H 17:10: 0								
	第19週	第20週	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	第26週
	(5/8~5/14)	(5/15~5/21)	(5/22~5/28)	(5/29~6/4)	(6/5~6/11)	(6/12~6/18)	(6/19~6/25)	(6/26~7/2)
患者報告数(人)	253	1	1	-	-	-	1	_
定点あたり報告数(人)	3.61	-	-	-	-	-	-	-

※報告数は各週公表時における速報値

報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります

◆新型コロナウイルス感染症に関する相談等

新型コロナウイルス感染症に関する相談や発生状況等の情報については下記のリンク等を ご覧ください。

- 新型コロナウイルス感染症について(名古屋市)
 - https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html
- 市内の新型コロナウイルス発生状況(名古屋市)
 - https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000157958.html
- 愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト(愛知県)
 - https://www.pref.aichi.ip/site/covid19-aichi/
- 新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)
 - https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708 00001.html

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が前週比2. 7倍になりました。

〔1類~5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2023年第19週	2類	結核	11	男性、92歳、結核性胸膜炎 男性、84歳、結核性胸膜炎 女性、16歳、結核性胸膜炎 男性、90歳、結核性胸膜炎 女性、22歳、肺結核 男性、45歳、肺結核 男性、65歳、肺結核 男性、65歳、肺結核及び結核性リンパ節炎 男性、48歳、無症状病原体保有者 男性、23歳、無症状病原体保有者 女性、28歳、無症状病原体保有者 男性、79歳、無症状病原体保有者
2023年第19週	4 類	レジオネラ症	1	女性、95歳、肺炎型、感染地域:名古屋市
2023年第19週	5類	アメーバ赤痢	1	男性、73歳、腸管アメーバ症、感染原因: その他、感染地域:国内
2023年第19週	5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	男性、87歳、菌検出検体:喀痰、菌種: Enterobacter hormaechei、感染原因:不明 女性、87歳、菌検出検体:尿、菌種: Klebsiella aerogenes、感染原因:以前から の保菌(保菌部位:尿)
2023年第19週	5類	後天性免疫不全症候群(HIV感 染症を含む)	1	男性、32 歳、無症状病原体保有者、感染経路:同性間性的接触、感染地域:国内
2023年第19週	5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	男性、76歳、菌検出検体:血液
2023年第19週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	2	男性、74 歳、菌検出検体:血液 男性、69 歳、菌検出検体:血液



NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

[※] 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。 (報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2023年	O 米西	%±+ /	1	ナルサーフィ 塩 タキナカルナリンパタケメ
第 13 週	2類	結核	I	女性、74歳、結核性リンパ節炎

[※] 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。 (報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔2023年1類~5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核(潜在性結核感染症を含む)	140 (53)
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであ	0
乙炔心未徙	るものに限る)	O
2 類感染症	中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるも	0
2 規念未進	のに限る)	
2 類感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ (H7N9)	0



新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。) ※令和5年5月7日まで。	77775
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	2 (1)
4 類感染症	E型肝炎	2
4 類感染症	マラリア	1
4 類感染症	レジオネラ症	5
5 類感染症	ウイルス性肝炎	3
5 類感染症	アメーバ赤痢	5
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	24
5 類感染症	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳 炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	5
5 類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	2
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12
5 類感染症	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	27 (19)
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	19
5 類感染症	水痘(入院例に限る)	2
5 類感染症	梅毒	165 (47)
5 類感染症	百日咳	2

累計は2023年第1週からの診断週による累計、()内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[]内は疑似症累計数を再掲、

【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、()内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、()内は後天性免疫不全症候 群の「その他」累計数を再掲。対象疾患が多いため、4類及び5類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります



〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成20年1月1日から、麻しん・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、 感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風 しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリ ンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html)をご覧ください。

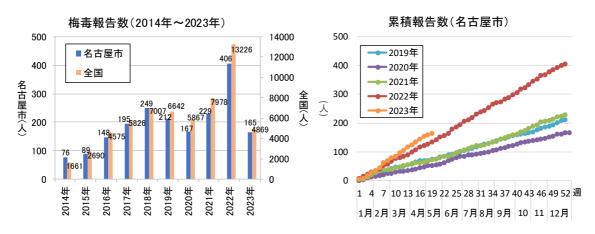
〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医 療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医 療機関については掲載しておりません。

インフルエンザA型5人・B型16人	定点医療機関(西区)
感染性胃腸炎はノロウイルス感染症	定点医療機関(西区)
インフルエンザ A型 1件	定点医療機関(港区)
インフルエンザ A 型 2 名@臨床診断 1 名	定点医療機関(守山区)
COVID-19 88 歳(女)1 人	定点医療機関(緑区)
4月まで COVID-19 感染者は 3-4/週でした。 @5月第	定点医療機関(緑区)
1 週は実質3日の診療日で3名(1名/日)で出ていまし	
た。@今週は2-3倍に確実に増加していると思われます。	
コロナ感染症は4名同一保育園です。	定点医療機関(天白区)

〔名古屋市の梅毒報告数〕

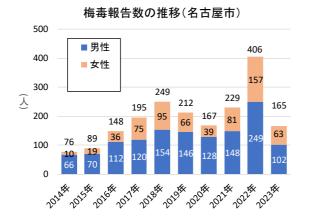
- 近年、梅毒の患者報告数が全国的に増加しており、本市においても2023年(令和5年) の報告数は、1999年以降で最多となった昨年を同週比で上回るペースで増加しています。 患者は、男性では20~50歳代で多く、女性では20歳代で特に報告数が増加しています。
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触(性的接触)です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。



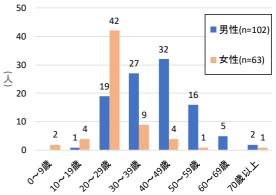
梅毒報告数の推移

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
名古屋市	76	89	148	195	249	212	167	229	406※3	165※1
全国	1661	2690	4575	5826	7007	6642	5867	7978	13226※3	4869※2

※1 第19週(5月14日)まで ※2 第18週(5月7日)まで ※3 報告数は速報値





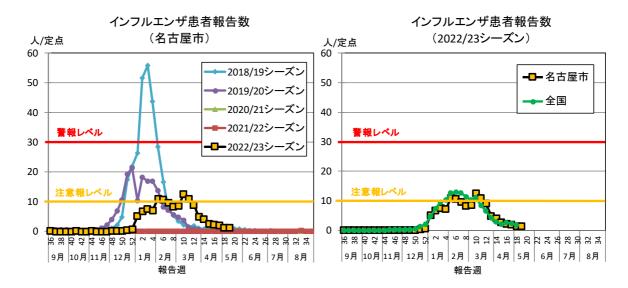




(トピックス:インフルエンザ)

- 本市における第19週(5月8日~5月14日)の市内70定点からのインフルエンザ患 者報告数は89人、定点当たり患者報告数は1.27人で前週より減少しました。
- インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主 な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介 した接触感染があります。
- 感染後、1日から3日程度の潜伏期間を経て、発熱(38℃以上)、頭痛、関節痛、筋肉痛、 全身倦怠感等が出現し、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。1 週間前後の経過 で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」に比べて全身症 状が強いのが特徴です。高齢者や乳幼児などは重症化することがあるので、特に注意が必 要です。

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数:2023年5月17日作成〕



定点当たり患者報告数(2022/23シーズン:8週分)

	第12週 (3/20~ 3/26)	第13週 (3/27~ 4/2)	第14週 (4/3~ 4/9)	第15週 (4/10~ 4/16)	第16週 (4/17~ 4/23)	第17週 (4/24~ 4/30)	第18週 (5/1~ 5/7)	第19週 (5/8~ 5/14)
名古屋市	8.97	4.94	4.11	2.61	2.30	2.04	1.33	1.27
愛知県	8.21	5.23	4.14	3.11	3.03	2.51	1.85	
全国	6.44	4.06	2.77	2.16	2.51	2.24	1.70	-
名古屋市 (昨シーズン)	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準

[※]報告数は各週公表時における速報値

各区の患者報告数(第19週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの 患者報告数(人)	4	2	2	28	4	5	1	1	2	1	2	3	10	8	13	3	89
定点当たり 患者報告数(人)	0.8	0.5	0.4	7.0	0.8	1.3	0.2	0.2	0.5	0.3	0.5	0.8	2.0	2.0	3.3	0.8	1.27



注意報警報レベルについて

患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	
注意報レベル	
警報レベル	

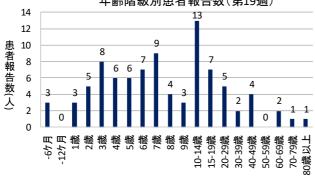
注意報・警報レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

<u> </u>									
注意報レベル	警報レベル								
基準値	開始基準値	終息基準値							
10	30	10							

注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合 警報レベル : 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、 10未満となるまで

年齡階級別患者報告数

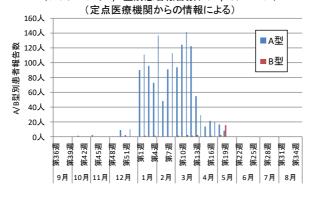
定点からのインフルエンザの 年齢階級別患者報告数(第19週)



インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2022/23シーズンは、インフルエンザA型1434人、インフルエンザB型42人がこれまでに報告されています。インフルエンザウイルスのうちAH3亜型が全国的に多く検出されています。

インフルエンザA/B型別患者報告数(2022/23シーズン)



インフルエンザA/B型別患者 報告数の割合(第19週)



インフルエンザA/B型別患者 報告数の割合(2022/23シー





◆2023 年第 19 週 患者報告数 (疾病区別)、定点あたり患者報告数 (疾病区別)、年齢階層別 患者報告数(疾病別)

第 19 週から既存のインフルエンザ定点を基に、市内 70 の定点医療機関であるインフルエン ザ/COVID-19 定点が指定されました。

患者報告数(名古屋市)

2023年第19週(2023年5月8日~5月14日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比※
インフルエンザ	4	2	2	28	4	5	1	1	2	1	2	3	10	8	13	3	89	1.0	267.0
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)*							and the same of th	are a second	A STATE OF THE STA				A. T.		, market and a second		253		
RSウイルス感染症	4	3		6	5	4			1	3		2	1		6		35	1.2	1.3
咽頭結膜熱	1	1	5	4		1						5	2		6		25	1.6	3.8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		1	19	2	4	1				1	2		1	14	5	52	2.7	2.8
感染性胃腸炎	37	7	16	36	14	29	8			24	7	3	36	40	18	24	299	1.7	1.9
水痘															1		1	0.2	0.6
手足口病		1		8	1	1				2		1		2	1		17	1.5	12.8
伝染性紅斑																	0	0.0	0.0
突発性発疹	1	1		2							1		3			1	9	1.5	0.7
ヘルパンギーナ			1	3													4	1.3	1.2
流行性耳下腺炎				1													1	0.5	0.8
急性出血性結膜炎																	0		
流行性角結膜炎																	0		0.0
細菌性髄膜炎																	0		0.0
無菌性髄膜炎																	0		
マイコプラズマ肺炎																	0		
クラミジア肺炎																	0		
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
	疾患 区 インフルエンザ 新型コーナウイルス感染症(COVID-19)* RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 伝染性紅斑 突発性発疹 ヘルパンギーナ 流行性耳下性 衰性出血性 態膜炎 流行性角結膜炎 細菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 マフラミジア肺炎 感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ 4 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* 4 RSウイルス感染症 4 4 咽頭結膜熱 1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 感染性胃腸炎 37 水痘 5 伝染性和斑突発性発疹 1 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 細菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎 クラミジア肺炎	インフルエンザ 4 2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* 4 3 RSウイルス感染症 4 3 咽頭結膜敷 1 1 1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 感染性胃腸炎 37 7 水痘 - - - 伝染性和斑突発性発疹 1 1 へルパンギーナ 二 - 流行性耳下腺炎 急性出血性結膜炎 細菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 - クラミジア肺炎	インフルエンザ 4 2 2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* 4 3 RSウイルス感染症 1 1 5 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 感染性胃腸炎 37 7 16 床痘 1 1 伝染性紅斑 2 1 1 次がシギーナ 1 1 1 へルパンギーナ 1 1 1 流行性耳下腺炎 急性出血性結膜炎 点流行性角結膜炎 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎 クラミジア肺炎	インフルエンザ 4 2 2 28 新型コロナウイルス感染症 4 3 6 RSウイルス感染症 4 1 1 5 4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 19 感染性胃腸炎 37 7 16 36 水痘 5 5 5 5 石染性紅斑 2 1 1 2 ヘルパンギーナ 1 3 3 1 1 2 ヘルパンギーナ 1 3 3 1 1 2 ヘルパンギーナ 1 3 1 3 1 1 2 ヘルパとギーナ 1 3 1 3 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 3 3 3 1	インフルエンザ 4 2 2 28 4 新型コロナウイルス感染症 4 3 6 5 RSウイルス感染症 4 3 6 5 個頭結膜熱 1 1 5 4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 19 2 感染性胃腸炎 37 7 16 36 14 木痘 1 8 1 伝染性和斑突発性発疹 1 1 2 ヘルパンギーナ 1 3 1 流行性耳下腺炎 1 1 3 流行性角結膜炎 無菌性髄膜炎 大ララズマ肺炎 クラミジア肺炎 クラミジア肺炎	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* 4 3 6 5 4 RSウイルス感染症 4 1 1 5 4 1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 19 2 4 感染性胃腸炎 37 7 16 36 14 29 水痘 5 1 1 2 2 木皮染性紅斑 2 1 1 2 2 ヘルパンギーナ 1 3 3 3 3 3 3 赤行性耳下腺炎 1 1 2 4 5 4 9 機性出血性結膜炎 次流行性角結膜炎 4 1 1 2 4 5 株菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 7 7 1 1 2 4 1 2 4 1 2 4 2 1 1 2 4 2 1 1 2 4 2 1 1 2 4 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 3 3	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 新型コロナウイルス感染症 RSウイルス感染症 個頭結膜熱 4 3 6 5 4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 19 2 4 1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 19 2 4 1 感染性胃腸炎 37 7 16 36 14 29 8 木痘 伝染性和斑 突発性発疹 1 1 2 2 ヘルパンギーナ 1 3 3 流行性耳下腺炎 1 1 3 急性出血性結膜炎 1 3 3 流行性角結膜炎 4 1 3 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 マクコプラズマ肺炎	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 1 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* 4 3 6 5 4 RSウイルス感染症 4 1 1 の顕結膜熱 1 1 5 4 1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 19 2 4 1 感染性胃腸炎 37 7 16 36 14 29 8 水痘 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 1 2 新型コロナウイルス感染症 4 3 6 5 4 1 RSウイルス感染症 4 1 1 5 4 1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 19 2 4 1 感染性胃腸炎 37 7 16 36 14 29 8 水痘 5 1 1 2 4 1 伝染性紅斑 6 1 1 2 4 1 1 変発性発疹 1 1 2 4 1 1 2 ヘルパンギーナ 1 3 1 3 1 3 1 流行性耳下腺炎 1 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 4 3 4 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 3	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 1 2 1 新型コロナウイルス感染症 4 3 6 5 4 1 3 四頭結膜熱 1 1 5 4 1 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 1 2 1 2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* RSウイルス感染症 4 3 6 5 4 1 3 四頭結膜熱 1 1 5 4 1 1 2 1 1 8 8 1 1 2 1 1 8 8 1 1 2 1 1 8 8 1 1 1 2 1 1 1 1	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 1 2 1 2 3 新型コロナウイルス感染症 4 3 6 5 4 1 3 2 2 個類結膜熱 1 1 5 4 1 1 2 1 2 8 感染性胃腸炎 37 7 16 36 14 29 8 24 7 3 水痘 ま足口病 1 8 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* 4 2 2 28 4 5 1 1 2 1 2 3 10 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* RSウイルス感染症 4 3 6 5 4 1 3 2 1 四頭結膜熱 1 1 5 4 1 2	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 1 2 1 2 3 10 8 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* RSウイルス感染症 4 3 6 5 4 1 3 2 1 四頭結膜熱 1 1 5 4 1 1 2 5 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 19 2 4 1 1 2 1 2 1 8 感染性胃腸炎 37 7 16 36 14 29 8 24 7 3 36 40 水痘 早足口病 1 8 1 1 2 1 2 1 2 6 全発性発療 1 1 2 1 2 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 1 2 1 2 3 10 8 13 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)*	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 1 2 1 2 3 10 8 13 3 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* RSウイルス感染症 4 3 6 5 4 1 3 2 1 6 四頭結膜熱 1 1 5 4 1 1 2 1 2 1 14 5 8 感染性胃腸炎 37 7 16 36 14 29 8 24 7 3 36 40 18 24 水痘 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 1 2 1 2 3 10 8 13 3 89 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)* 253 RSウイルス感染症 4 3 6 5 4 1 3 2 1 6 35 四頭結膜熱 1 1 5 4 1 1 5 2 1 1 1 4 5 52 6 2 53 83 6 6 14 29 8 24 7 3 36 40 18 24 299 水痘 1 1 8 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	インフルエンザ 4 2 2 28 4 5 1 1 2 1 2 3 10 8 13 3 89 新型コロナウイルス感染症 4 3 6 5 4 1 3 2 1 6 35 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 19 2 4 1 1 2 1 14 5 5 2 6 25 1.6 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2 1 19 2 4 1 1 2 1 14 5 5 2 7 3 36 40 18 24 299 1.7 水痘 1 8 1 1 2 1

[※]過去3年の同週 の平均値との比

☆	インフルエンザ/COVID-19定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70
0	小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70
Δ	眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11
\Diamond	基幹定点数			1				1			1							3

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市) 2023年第19週(2023年5月8日~5月14日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	0.8	0.5	0.4	7.0	0.8	1.3	0.2	0.2	0.5	0.3	0.5	0.8	2.0	2.0	3.3	8.0	1.27
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)			AND THE PROPERTY OF THE PARTY O		Andready and a section of the sectio	and the same of th		***************************************	and the same and t		ada maran kana ang kina kana ang kina	ana	adventure variable va		***************************************		3.61
RSウイルス感染症	8.0	0.8		1.5	1.0	1.0			0.3	0.8		0.5	0.2		1.5		0.50
咽頭結膜熱	0.2	0.3	1.0	1.0		0.3						1.3	0.4		1.5		0.36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.4		0.2	4.8	0.4	1.0	0.2				0.3	0.5		0.3	3.5	1.3	0.74
感染性胃腸炎	7.4	1.8	3.2	9.0	2.8	7.3	1.6			6.0	1.8	0.8	7.2	10.0	4.5	6.0	4.27
水痘															0.3		0.01
手足口病		0.3		2.0	0.2	0.3				0.5		0.3		0.5	0.3		0.24
伝染性紅斑																	1 1
突発性発しん	0.2	0.3		0.5							0.3		0.6			0.3	0.13
ヘルパンギーナ			0.2	0.8													0.06
流行性耳下腺炎				0.3													0.01
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																	

	流行発	生警報	流行発生注意報
警報対象疾患	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
突発性発しん	ı	-	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	_

流行警報・注意報について

- 太字の数字 は流行発生警報
- 斜体の数字 は流行発生注意報
- 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動 向調査における警報発生システムの基準値 (左表)に準拠し ています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判 断で、独自の設定に変更する場合があります。
- この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専 ■この言葉のグルンを持ち、るためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。 * 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)については名古屋市全体の患者報告数を計上



年齡階層別患者報告数(名古屋市)

2023年第19週(2023年5月8日~5月14日)

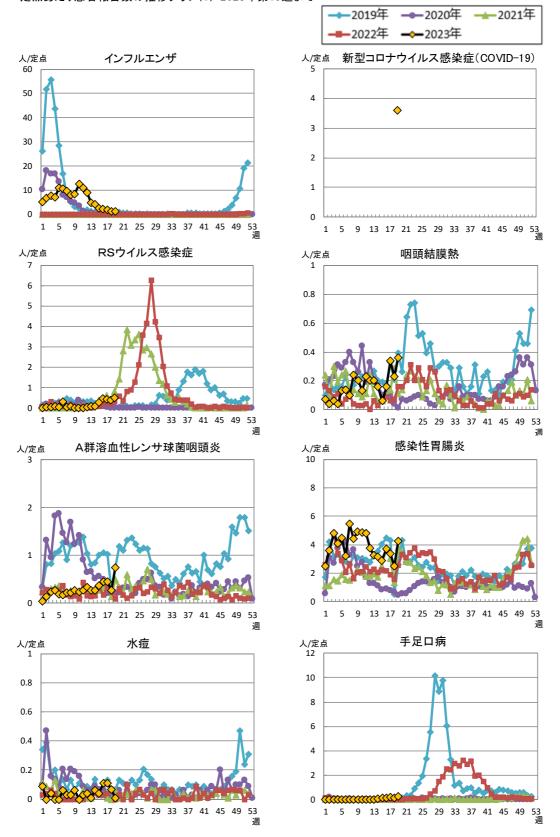
疾患 \ 年齢階層	-6ケ 月	-12ケ 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10- 14歳	15- 19歳	20- 29歳	30- 39歳	40- 49歳	50- 59歳	60- 69歳	70- 79歳	80歳 以上
インフルエンザ	3		3	5	8	6	6	7	9	4	3	13	7	5	2	4		2	1	- 1
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	3	10	3	2	3		4		3	3	3	8	21	60	36	19	28	13	19	15

疾患 / 年齢階層	-6ケ 月	-12ケ 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10- 14歳	15- 19歳	20歳 以上
RSウイルス感染症	6	4	10	4	5	3	3							
咽頭結膜熱		1	8	3	5	3	4		1					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			8	3	3	5	7	8	4	2	1	3	1	7
感染性胃腸炎	- 1	17	31	23	30	35	31	24	15	18	11	17	9	37
水痘						1								
手足口病		2	5	- 1	4		4				1			
伝染性紅斑														
突発性発しん		3	6											
ヘルパンギーナ		- 1	- 1	- 1	1									
流行性耳下腺炎												1		

疾患 / 年齢階層	-6ケ 月	-12ケ 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10- 14歳	15- 19歳	20- 29歳	30- 39歳	40- 49歳	50- 59歳	60- 69歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎																			

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4 歳	5-9 歳	10- 14歳	15- 19歳	20- 24歳	25- 29歳	30- 34歳	35- 39歳	40- 44歳	45- 49歳	50- 54歳	55- 59歳	60- 64歳	65- 69歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点医療機関からの 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2023年第19週まで



◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点医療機関からの 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2023年第19週まで

